

事業シート(令和2年度決算)

26_商工振興課_1

事業名	61100 物産宣伝推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・飛騨高山ブランドの大都市圏や海外への販路開拓を強化するとともに、どこにいても飛騨高山ブランド産品が購入できるeコマース(ネット通販、ネットショップ、インターネット通販など)の仕組みを構築します。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信		
			項	1	商工費	根拠計画		産業振興計画			
			目	1	商工振興費						
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の特産品の販路拡大や市内商工業の振興を図る。	概要	・高山市産業振興協会が実施する飛騨高山展への補助金の交付 ・新作土産品及び推奨土産品の審査・公表、推奨土産品登録証紙によるPR等の実施
----	---------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 953億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 2,561億円	(H30) 2,552億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	20,607	13,856	20,300	20,300	849	△ 13,007	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	100	133	100	100	100	△ 33	
一般財源	20,507	13,723	20,200	20,200	749	△ 12,974	
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山展の開催	14,000	8,000	16,000	16,000	0	△ 8,000
	飛騨高山フェアの開催	1,740	1,232	2,230	2,230	193	△ 1,039
	土産品の奨励	410	342	410	410	107	△ 235
	販路開拓や商品開発への支援	2,700	2,646				△ 2,646

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
21,054	15,200	15,200	△ 5,100
21,054	15,200	15,200	△ 5,000
査定額	説明		
11,000			
2,230			
410			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・京王百貨店新宿店において飛騨高山展開催(令和元年5月) ・高島屋横浜店において飛騨高山展開催(令和元年7月) ・岐阜高島屋において飛騨高山展を開催(令和元年11月) ・イオン名古屋茶屋店において飛騨高山フェア開催(令和元年9月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(優秀賞3点、奨励賞3点) 推奨土産品の登録(新規13点、継続56点) ・販路開拓のため市内事業者とバイヤーとの商談会及びセミナーの開催(令和2年2月) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展の開催に加え、商談会及び事前事後のセミナーを行ったことにより、新たな販路開拓をはじめ自社商品の改善点や顧客ニーズの把握など事業者のスキルアップにつなげることができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・物産展開催にあたっては、顧客ニーズの多様化なども踏まえ、新商品の開発促進や、より効果的な物販・観光宣伝に取り組む必要がある。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であるため、次年度以降も事業を継続する必要がある。 ・バイヤーとの商談会については、産業界が主体となって実施する方法を検討する。 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン各務原店において飛騨高山フェア(委託販売形式)開催(令和2年8月) ・土産品振興奨励審査会を開催し、推奨土産品登録証紙や市ホームページ等により市民、観光客にPR 新作土産品の表彰(優秀賞1点) 推奨土産品の登録(新規1点、継続61点) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店における飛騨高山展がすべて中止になるなど、実施することができない事業が多かった中で、高山市産業振興協会によるインターネット通販サイトの構築やクラウドファンディングによる特産品等の在庫販売促進などの取り組みを進めた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、慎重な判断のもと各種物産宣伝事業を進める。 ・市内で開発・生産される土産品は市のブランドイメージを構成する重要な要素であることから、次年度以降も事業を継続する。 ・高山市産業振興協会のECサイトの運営が軌道に乗るよう取り組みを進める。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店等における飛騨高山展の開催支援に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

26_商工振興課_1

61100

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61105 伝統的工芸品産業等振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	・あらゆる分野において、後継者育成、技術継承、事業継承への支援を充実します。また、匠の技の継承と発展を支援し、高山らしい産業を支える人材の育成・確保を進めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出		
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画		
			目	1	商工振興費						
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝統的工芸品産業等の伝統技術を守り伝えていくとともに振興を図り、市内産業全体の活性化を図る。	概要	・伝統的工芸品産業等の後継者育成に対する助成 ・飛騨伝統的工芸品産業振興協議会に対して負担金を交付 ・飛騨春慶連合協同組合及び飛騨一位一刀彫協同組合に対して補助金を交付、原材料の共同購入資金を貸付 ・飛騨高山の名匠の認定制度の運用
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	34.4%	32.2%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31			R2		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		48,803	44,930	50,375	65,375	60,079	15,149
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県産品購入促進補助金)				5,000	5,000	5,000
	その他(雑入(貸付金元金)、飛騨高山ふるさと基金繰入金ほか)	32,100	32,100	30,300	30,300	29,300	△ 2,800
一般財源		16,703	12,830	20,075	30,075	25,779	12,949
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨高山の名匠認定	630	290	590	590	262	△ 28
	伝統的工芸品産業の後継者育成に対する助成	15,930	12,540	17,040	17,040	14,930	2,390
	伝統的工芸品産業振興貸付金	31,000	31,000	29,000	29,000	29,000	△ 2,000
◎ 1	伝統的工芸品のPRIに対する助成			2,500	2,500	0	
	市内産品の購入				15,000	14,908	14,908

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		51,400	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)				
51,086	49,595	49,595	△ 780				
27,000	27,000	27,000	△ 3,300				
24,086	22,595	22,595	2,520				
査定額	説明						
590							
19,760							
27,000							
1,000							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定 8名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 1事業所1人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 9事業所13人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(令和元年11月) 	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統建築産業の後継者育成事業補助金は、新たに7名が補助対象となり、後継者の確保につながった。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、PR方法を工夫するなど一層の認知度向上に努め、本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・UIJターン希望者等に対して、後継者育成事業補助制度を広く周知することにより、後継者の確保につなげる。 ・伝統的工芸品産業そのものが衰退傾向にある中で、原材料や後継者の確保など多くの課題を抱えているため、飛騨高山の名匠認定制度や伝統的工芸品月間等の事業を行いながら、次年度以降も事業を継続する。 ・振興計画に基づき、人材育成や販路開拓等を促進する。 ・伝統工芸品が多くの人々の目にふれ、手に取ってもらえるようなPRIについて支援を行う。 	

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定 11名 ・伝統的工芸品産業技術修得研修者(後継者育成事業) 2事業所2人 ・伝統建築産業技術修得研修者(後継者育成事業) 12事業所13人 ・飛騨春慶連合協同組合、飛騨一位一刀彫協同組合に対する運営費の助成と原材料共同購入に対する貸付 ・飛騨の伝統的工芸品展の開催(令和2年11月) ・市内産品の多様な場面での活用を進め、認知度の向上や飛騨高山ブランドの浸透を図るため、伝統的工芸品等を購入 	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品産業の後継者育成事業補助金は新たに1名、伝統建築産業の後継者育成事業補助金は新たに3名が補助対象となり、後継者の確保につながった。 ・飛騨高山の名匠認定制度については、PR方法を工夫するなど一層の認知度向上に努め、本市の産業のさらなる振興と後継者の育成につなげていく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症拡大による深刻な影響の中で、今後、地場産業の魅力や価値を周知していくために、市内産品を購入することで、伝統産業を支援することができた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成や販路開拓のため、UIJターン希望者等に対する後継者育成事業補助制度の周知や、飛騨高山の名匠認定制度、伝統的工芸品月間等の事業を継続する。 ・伝統工芸品のPRIに対する助成については、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえて、引き続き伝統工芸品が多くの人々の目にふれ、手に取ってもらえるよう支援を継続する。 	

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山の名匠認定に必要な経費を計上 ・後継者育成事業の推進に必要な経費を計上 ・伝統的工芸品産業の推進に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	61105 伝統的工芸品産業等振興事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工労働部 商工振興課
枝番・内容	1 伝統的工芸品のPRIに対する助成		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2213	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	伝統的工芸品に対する市場ニーズが減少傾向となっていることから、伝統的工芸品の商品競争力を高める	概要	伝統的工芸品を購入した市内事業者に対し、費用の一部を支援
----	---	----	------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	2,500
主な経費	・国指定伝統的工芸品である一位一刀彫、飛騨春慶の購入費用への助成	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	2,500
	繰越	
	補正等	
	最終	2,500
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	・国指定伝統的工芸品である一位一刀彫、飛騨春慶の購入費用への助成	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	事業者による伝統的工芸品の導入について支援 ・観光客や市民の目に見える形での使用・展示を推進することで、伝統的工芸品の購入機運を高める。 ・不特定多数の目に触れることで、消費者のニーズをくみとり、商品開発につなげ、高付加価値化、競争力強化を図る。
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	実績なし
[評価等]	購入の促進を想定していた、宿泊施設や飲食店などが新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため、実績はなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	事業者による伝統的工芸品の導入について支援 ・観光客や市民の目に見える形での使用・展示を推進することで、伝統的工芸品の購入機運を高める。 ・不特定多数の目に触れることで、消費者のニーズをくみとり、商品開発につなげ、高付加価値化、競争力強化を図る。
[スケジュール]	新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえながら広報活動を実施し、助成制度の周知を図る。

事業シート(令和2年度決算)

26_商工振興課_4

事業名	61110 商工会議所等助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		産業振興計画			
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市内の事業者への経営指導、経営相談により、市内の商工業の振興を図る。	概要	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
----	---------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 953億円	(H30) 952億円	-
第2次産業の事業所数	(H28) 1,283件	(H28) 1,283件	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 2,561億円	(H30) 2,552億円	-
第3次産業の事業所数	(H28) 5,019件	(H28) 5,019件	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	29,000	25,582	30,050	30,050	18,490	△ 7,092	
特定財源							
国費()							
県費(県委譲事務交付金)	117	88	88	88	117	29	
その他()							
一般財源	28,883	25,494	29,962	29,962	18,373	△ 7,121	
個票枝番	主な事業内容						
	商工会の運営費等に対する助成	29,000	25,582	30,050	30,050	18,490	△ 7,092

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		31,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
26,674	26,680	26,680	△ 3,370	
90	117	117	29	
26,584	26,563	26,563	△ 3,399	
査定額	説明			
26,680				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・高山商工会議所の運営費及び事業費、高山商工会議所が行う中小企業相談所の運営費に対する助成 ・商工会の運営費に対する助成
評価等	・中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援を行い、市内産業の活性化に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	・中小企業者の持続的な発展による市内産業の活性化のため、中小企業者の指導育成を行う商工会議所、商工会への支援事業を継続する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

26_商工振興課_4

61110

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61130 地場産業振興事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(4)	既存産業の強化と新たな産業の創出	
			項	1	商工費		産業振興計画			
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨地域における地場産業振興および地場産業の健全な育成、発展を図る。	概要	・一般財団法人飛騨地域地場産業振興センターの管理運営に要する経費及び下記事業に対する助成 地場産業総合振興事業費 地場産業活性化対策事業費 地場産業振興事業推進費
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じている市民の割合	34.4%	32.2%	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,937	20,937	24,937	24,937	21,945	1,008
特定財源	国費()						
	県費(地場産業活性化対策事業費1/2、地場産業振興事業推進費1/2)	4,236	4,236	4,236	4,236	3,870	△ 366
	その他()						
一般財源		16,701	16,701	20,701	20,701	18,075	1,374
個票枝番	主な事業内容						
	地場産業総合振興事業等に対する助成	20,937	20,937	24,937	24,937	21,945	1,008

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額		21,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
20,937	20,937	20,937	△ 4,000	
4,236	4,236	4,236	0	
16,701	16,701	16,701	△ 4,000	
査定額	説明			
20,937				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・飛騨の伝統的工芸品展示会、人材確保・養成事業を実施 ・味まつり、親子体験教室を実施 ・地場産業振興センターの運営等に対する助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・地場産業育成・発展のための基幹的な役割を担っている飛騨地域地場産業振興センターが実施する振興策は必要不可欠であるため、今後も当該制度を継続する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・飛騨の物産PR事業として、全国地場産センター交流展へ出展(R2年10月 愛媛県今治市) ・市内で伝統的工芸品等のPRのための展示会を開催(R2年10・11月 飛騨高山まちの博物館他) ・地域人材の確保・養成事業として、ものづくり技能向上研修や販売力向上研修を開催(R2年10月、R3年3月) ・飛騨の味まつりをオンライン開催(1回目:R2年6月、2回目:R2年9-10月、3回目:R3年2月) ・地場産業振興センターの運営等に対する助成 ・地場産センター整備に対する助成
評価等	・飛騨地域地場産業振興センターが実施する地場産品展示・普及事業や地域人材確保・養成事業、地場産業活性化対策事業、地場産業販路開拓事業を支援することにより、地場産業の育成・発展に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・地場産業の育成・発展のため、飛騨地域地場産業振興センターの在り方や事業の方向性等について協議を進める。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨地域地場産業支援センターの施設管理運営に対する支援に必要な経費を計上 ・飛騨地域地場産業支援センターが実施する振興策への支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61145 中小企業融資事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内中小企業の経営の安定を図る。	概要	・中小企業融資及び利子・保証料補給の実施 ・業況の悪化している事業者への利子補給の実施
----	-------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 953億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 2,561億円	(H30) 2,552億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職人員件費を除く)	H31		R2				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	1,098,801	927,285	1,052,601	2,119,415	1,518,486	591,201	
特定財源							
国費(新型コロナウイルス感染症対応・地方創生臨時交付金)				488,483	347,272	347,272	
県費							
その他(諸収入)	929,000	827,200	941,500	941,500	821,400	△ 5,800	
一般財源	169,801	100,085	111,101	689,432	349,814	249,729	
個票枝番	主な事業内容						
	県融資制度に対する助成金	42,000	41,572	34,000	34,000	28,273	△ 13,299
	小口融資	486,400	440,500	479,000	469,000	390,472	△ 50,028
	経営安定特別資金融資	506,200	434,542	536,500	776,000	459,908	25,366
	小規模事業者経営改善資金融資制度に対する助成	2,300	1,038	2,300	2,300	406	△ 632
	令和2年7月豪雨災害復旧支援融資に対する助成				7,000	0	
	新型コロナウイルス対策融資に対する助成	61,000	9,186		829,814	638,427	629,241

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
1,243,101	1,259,101	1,259,101	206,500
820,000	860,000	860,000	△ 81,500
423,101	399,101	399,101	288,000
査定額	説明		
29,000			
405,000			
524,000			
1,400			
150			
299,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 708件 保証料補給 252件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 359件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 74件 災害復旧支援融資 利子補給2件 新型コロナウイルス対策 利子補給 13件 保証料補給 22件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市内事業者のニーズは高く、利用件数は非常に多い。次年度以降についても融資制度を継続する。 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、国・県・市の各種融資制度への支援を強化する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する支援 利子補給 463件 保証料補給 70件 県制度融資の借入に対する支援 利子補給 287件 日本政策金融公庫融資の借入に対する支援 利子補給 40件 災害復旧支援融資 利子補給2件 新型コロナウイルス対策 利子補給 1,006件 保証料補給 854件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 市制度融資の借入に対する利子・保証料補給、県・日本政策金融公庫融資に対する利子補給を行い中小事業者の経営支援を行った。 平成30年度豪雨災害により被害を受けた事業者への利子・保証料補給による経営支援を行った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への利子・保証料補給を行い、事業継続の支援を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 直近年度は、新型コロナウイルス感染症に対する支援融資の利用が増えたことから、市制度融資の利用は減少したものの、小規模事業者を中心に利用があり、引き続き実施をする。 新型コロナウイルス感染症の支援制度については、市内産業の業況等を踏まえて柔軟な対応を行う。 令和2年7月豪雨災害復旧支援融資に対する助成については、融資実行がなかったため、次年度以降の執行見込みはない。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関、商工会議所、商工会、県信用保証協会等との連携による中小企業への支援体制の強化に必要な経費を計上 経営安定のための利子・保証料補給に必要な経費を計上 新型コロナウイルス対策利子・保証料等に必要経費を計上 令和2年7月豪雨災害復旧支援融資利子補給金に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定 の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61155 道の駅等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の恵まれた自然、歴史、文化資源を生かし、都市との交流及び観光客の誘致並びに地域特産品の生産・販売により、地域の活性化を目指す。	概要	・「道の駅」機能による地域情報の発信と、「付帯施設」における特産品や地元野菜の販売等 ・清見地域で活動しているクラフト作家の作品の常設展示即売や地域の集会所としての貸館等
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	75,950	75,203	69,526	137,544	118,786	43,583	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(指定管理事業雑入(道の駅)等)	17,873	17,885	17,850	10,721	12,232	△ 5,653	
一般財源	58,077	57,318	51,676	126,823	106,554	49,236	
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理委託料	9,850	9,421	10,560	78,860	61,686	52,265
	その他管理運営経費	46,923	46,891	47,466	47,466	47,141	250
	工事請負費	14,277	14,277	7,200	7,200	6,917	△ 7,360
	備品購入費	4,900	4,613	4,300	4,300	3,040	△ 1,573

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
83,215	68,528	68,528	△ 998
17,850	17,850	17,850	0
65,365	50,678	50,678	△ 998
査定額	説明		
10,560			
47,368			
8,300			
2,300			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅8駅を施設管理委託 道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品の生産・販売の拠点として機能 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設はなく、今後も継続していく必要がある。 施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅8駅を施設管理委託 道の駅付帯施設7施設及びウッドフォーラム飛騨を指定管理委託 施設の老朽化に伴う修繕工事の実施及び各種備品の更新 R2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大による道の駅等の休業等の影響を踏まえ、指定管理委託料を増額し対応
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品の販売拠点として地場産業振興に寄与している 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、今後のあり方を検討する必要がある
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品開発、販売の拠点機能をもつ道の駅の機能は、ほかに類似する施設もないことから、今後も運営を継続していく。 施設の老朽化等により、経営に支障をきたす恐れもあるため、計画的に維持・修繕工事を行う。 一部道の駅付帯施設については、交通量や隣接施設等の状況を踏まえ、地域との対話を踏まえて今後のあり方を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	施設の老朽化による修繕、備品の更新に必要な経費を計上
---------------------	----------------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
市長査定 の考え方	財務部査定のとおりに

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61160 商工関係団体支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	品質・価値の向上と情報発信	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1. 事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済を支える中小企業をはじめ、産業団体や地場産業等の振興を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等に対する助成 ・カード決済端末の普及に対する助成 ・外国人観光客やアレルギーなどに対応したおもてなし環境整備に対する助成 ・国生産性革命推進事業、県小規模事業者持続化補助金の交付決定者に対する、上乘せ補助
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 953億円	(H30) 952億円	-
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 2,561億円	(H30) 2,552億円	-

2. 事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H31			R2			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	114,352	8,285	5,450	1,280,450	1,047,258	1,038,973	
特定財源							
国費(新型コロナウイルス感染症対応・地方創生臨時交付金)				348,183	348,183		
県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金1/2)	640					△ 640	
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金等)	400	1,000	100	100	143,224	142,224	
一般財源	113,952	6,645	5,350	1,280,350	555,851	549,206	
個票枝番	主な事業内容						
	カード決済等の普及促進に対する助成	8,800	4,518	2,200	2,200	1,335	△ 3,183
	おもてなし環境整備に対する助成	3,000	1,297	2,000	2,000	1,208	△ 89
	事業承継に関する調査	1,300	1,298				△ 1,298
	中小企業生産性革命推進事業補助金				90,000	67,264	67,264
	産業団体活性化支援補助金(新型コロナウイルス対策)	100,000	0		800,000	559,362	559,362

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4. 令和3年度予算編成(Action)

(千円)

R3予算		実施計画額		4,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
50,550	67,750	67,750	62,300	
50,550	67,750	67,750	62,400	
査定額	説明			
0				
1,500				
65,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3. 平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展、木工工作コンクール等の開催経費に対する助成 ・カード決済等の普及に対する助成 98件 ・おもてなし環境整備に対する助成 5件 ・事業承継の推進に向けた調査(推進委員会の開催ほか)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関係団体の取り組みを支援することができた。 ・カード決済端末等の導入に関する需要がこ高まっており、引き続き支援を継続していく必要がある。 ・事業承継の取り組みを促進していくため、相談窓口の明確化や関係者の役割と連携の仕組みづくり、事業者への啓発と相談の受入を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体と連携した商工施策を展開するとともに、引き続き適正な事務の執行に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5. 令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨木工連合会の運営費に対する助成 ・発明くふう展の開催等に関する経費に対する助成 ・カード決済等の普及に対する助成 33件 ・おもてなし環境整備に対する助成 4件 ・事業承継の推進に向けた調査(推進委員会の開催、アンケート調査等の実施ほか) ・中小企業生産性革命推進事業補助金による経営革新等の取り組みに対する助成 112件 ・産業団体等活性化策支援事業補助金等による各種団体の取り組みに対する助成 100件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種商工関係団体の取り組み支援を通じた市内産業の振興に寄与することができた。 ・事業承継については、委託先の取り組みとして各種調査や委員会の開催による情報共有に加え、事業承継相談窓口の広報や事業承継専門家の派遣等も実施し、市内事業者への啓発と事業承継の促進に寄与した。 ・中小企業生産性革命推進事業補助金の実施により、コロナ禍における経営革新の促進に寄与した。 ・産業団体等活性化策支援事業補助金等の実施により、市内産業団体の経済活動維持と市内産業の活性化のための取り組み促進に寄与した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連団体との連携を一層強化して商工振興施策を推進するとともに、引き続き適正な事務の執行に努める。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるため、次年度以降も、経営革新や持続化を図るための事業に積極的に取り組む市内事業者への支援を継続する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・中小企業の経済活動を支援する各種施策の実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・カード決済等の普及促進に対する助成については、事業の効果等を踏まえ事業終了
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約	産業連関表の分析結果(市外に流出している業務や資金がわかります)なども活用し、新たな地場産業の育成、市民所得の向上、適確な産業施策の立案などを進めます。
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築		
			項	1	商工費	根拠計画	産業振興計画				
			目	1	商工振興費						
担当課	商工労働部 商工振興課、雇用・産業創出課	内線	2213								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域経済のヒト、モノ、カネの流れを客観的に把握し、産業構造など地域の特性や強みを活かした施策の実現につなげる。	概要	・産業連関表の分析結果などを活用した新たな産業施策の立案及び課題解決のための調査研究の実施
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
雇用者1人あたりの雇用者報酬	(H28) 3,881千円	(H30) 3,961千円	(R6) 4,300千円
就業者1人あたりの市内総生産額	(H28) 7,057千円	(H30) 7,054千円	(R6) 7,800千円
市際収支	(H28) ▲100億円	(H28) ▲100億円	-

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,950	2,761	13,270	13,270	2,364	△ 397
特定財源	国費()						
	県費(高度人材育成支援事業費補助金1/2)		290				△ 290
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			6,000	6,000		
一般財源		3,950	2,471	7,270	7,270	2,364	△ 107
個票枝番	主な事業内容						
	地域経済懇談会の設置・運営	3,350	2,163	3,670	3,670	1,764	△ 399
	高度人材の育成支援	600	598	600	600	599	1
◎ 1	地域経済実態調査			9,000	9,000	0	
	中小企業新技術導入事業						

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		4,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
13,716	13,270	13,270	0			
	8,000	8,000	2,000			
13,716	5,270	5,270	△ 2,000			
査定額	説明					
3,670						
600						
9,000						
0						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・経済政策アドバイザーを中心に、市内事業者が参加する地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催
評価等	・地域経済懇談会では、域内資金循環、多様な働き方、生産性の向上を軸に議論を深め、産業振興基本条例の改正や産業振興計画の策定などを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・経済政策アドバイザーを中心に、市内事業者が参加する地域経済懇談会を開催 ・国のデータや産業連関表等を自らの企業活動に活用できる人材を育成する高度人材育成のためのセミナーを開催 ・当初予定していた市内流通実態調査及び労働環境調査については、新型コロナウイルス拡大の影響による市内流通状況や雇用環境の著しい変化を踏まえ、実施を見送った。
評価等	・地域経済懇談会では、コロナ禍で浮き彫りとなった市内産業の課題や取組みの方向性を整理した。 ・当初予定していた市内流通実態調査及び労働環境調査については、新型コロナウイルス拡大の影響による市内流通状況や雇用環境の著しい変化を踏まえ、実施を見送った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・地域経済懇談会の開催に必要な経費を計上 ・中小企業新技術導入事業の実施に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(令和2年度決算)

事業名	61165 地域経済戦略事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工労働部 商工振興課
枝番・内容	1 地域経済実態調査		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2213	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・高山市の地域経済の実態を調査	概要	・市内における流通や企業の労働環境を調査し、課題や対策を検討
----	-----------------	----	--------------------------------

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	9,000
主な経費	調査業務	
対前年度増減額(当初予算)		9,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	9,000
	繰越	0
	補正等	0
	最終	9,000
決算額		0
対前年度増減額(決算)		0

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	9,000
主な経費	調査業務	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	地域経済実態調査 ・市内の流通実態調査 ・市内企業の労働環境調査
[スケジュール]	当初スケジュール 5月 委託発注 7月 事業者選定、調査実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	・新型コロナウイルスの感染拡大により、市内の流通状況や労働環境が大きく変化したことから、実施を見送った。
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	・地域経済懇談会で議論したコロナ禍における市内産業の課題等を踏まえ、次年度以降に調査業務を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	コロナ禍における市内産業の課題等を踏まえ、市内流通や労働環境に関する調査を実施する。
[スケジュール]	8月 調査業務の骨子等の確定 9月 事業者等の選定・調査実施 3月 調査報告書の作成

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61175 消費活性化策事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(5)	地域循環型経済の構築	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工労働部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・マイナンバーカードによるマイナポイント制度を活用し、市内消費活性化を図る。	概要	・マイナポイント制度の利用等に必要マイキーID設定の支援 ・マイナポイント制度による消費活性化策の周知等
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
マイナンバーカード普及率	(H30) 10.2%	(R2) 28.2%	(R6) 93.0%

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,780	4,541	2,300	7,300	6,586	2,045
特定財源	国費(個人番号カード利用環境整備費補助金10/10)	4,780	4,541	2,300	2,300	2,282	△ 2,259
	県費						
	その他						
一般財源					5,000	4,304	4,304
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	マイナンバーカードを活用した消費活性化の推進	4,780	4,541	2,300	2,300	2,282	△ 2,259

4.令和3年度予算編成(Action)

		R3予算		実施計画額		(千円)
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)			
400	400	400	△ 1,900			
400	400	400	△ 1,900			
査定額	説明					
400						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	・マイキーID設定に関する支援を行った。721件 ・マイナポイント制度の周知ため広報、フリーペーパー、FM、CATVなどを実施した。
評価等	・マイナポイント事業への関心を高めるため、広く周知を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input checked="" type="checkbox"/> R2完了予定

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・マイキーID設定に関する支援を行った。9667件 ・マイナポイント制度の周知ため広報、フリーペーパー、FM、CATVなどを実施した。 ・出張ID設定支援についても実施した。
評価等	・マイナポイント事業への関心を高めるため、広く周知を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input checked="" type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
-------------------	--------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	61175 消費活性化策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工労働部 商工振興課
枝番・内容	1 マイナンバーカードを活用した消費活性化の推進		<input type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2214	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・国において、令和元年10月1日の消費税引き上げ後の消費活性化対策としてマイナンバーカードを活用したマイナポイント制度の実施が予定されており、市としても制度を活用した市内消費活性化を図る。	概要	・マイナポイント制度の利用等に必要マイキーID設定の支援 ・マイナポイント制度による消費活性化策の周知等
----	--	----	---

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	2,300
主な経費	・需用費	
	・役務費	
	・委託料	
	・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		2,300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	2,300
	繰越	0
	補正等	0
	最終	2,300
決算額		2,255
対前年度増減額(決算)		2,255

事業実績、評価等

[事業実績]	・マイキーID設定支援数 9,667件
[評価等]	・幅広く、マイキーID設定支援や広報を実施することができた。

次年度以降の考え方(担当課)	・マイナポイント制度がR3.9までであることから、引き続き広報等を実施する。	<input type="checkbox"/> 維持・改善
		<input type="checkbox"/> 拡大
		<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input type="checkbox"/> R2完了
		<input checked="" type="checkbox"/> R3完了予定

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	400
主な経費	・需用費	
	・役務費	
	・委託料	
	・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		400

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール

[事業内容]	・マイキーID設定支援、広報等 国では、消費税引き上げ後の消費活性化策としてマイナンバーカードを活用したマイナポイント事業の実施しており、市としても制度を活用した市内の消費活性化を図る。
[スケジュール]	R3.9まで ・マイキーIDパスワードの設定支援 ・広報等 (H31年度(9月補正)から引き続き)

事業実績、評価等

[事業実績]	
--------	--

次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善
	<input type="checkbox"/> 拡大
	<input type="checkbox"/> 縮小
	<input type="checkbox"/> 廃止検討
	<input type="checkbox"/> H30完了
	<input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール

[事業内容]	・マイキーID設定支援、広報等 国では、消費税引き上げ後の消費活性化策としてマイナンバーカードを活用したマイナポイント事業の実施を予定しており、市としても制度を活用した市内の消費活性化を図る。
[スケジュール]	4月～ ・マイキーIDパスワードの設定支援 ・広報等 (H31年度(9月補正)から引き続き)

事業シート(令和2年度決算)

事業名	61180 事業承継支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	1	多様な働き方と優れた産品、サービスで財を稼ぐ	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(2)	地域産業の担い手確保と生産性の向上	
			項	1	商工費		根拠計画		産業振興計画	
			目	1	商工振興費					
担当課	商工観光部 商工振興課	内線	2213							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・円滑な事業承継を推進することにより、市内事業者の有する技術や販路、ブランド力などの次代への継承を図る。	概要	・事業承継相談窓口の開設と周知 ・事業者と後継者のマッチング支援 ・円滑な事業承継の推進に向けた支援の強化
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H31実績	R2実績	R6目標
第2次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 953億円	(H30) 952億円	617億円
第3次産業の市内総生産額(年間)	(H29) 2,561億円	(H30) 2,552億円	2,540億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H31		R2			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)				300	300	300	300
特定財源	国費()						
	県費(岐阜県清流の国ぎふ推進補助金)					150	150
	その他()						
一般財源				300	300	150	150
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	事業承継支援事業費	1,300	1,298	300	300	300	△ 998
	事業承継関連融資						

4.令和3年度予算編成(Action)

R3予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
3,800	3,800	3,800	3,500
3,800	3,800	3,800	3,500
査定額	説明		
3,800			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成31年度事業実績、評価等(Check) R2.8実施

事業実績	事業承継推進委員会を開催し、事業承継における問題点を把握した。第三者事業承継を周知するために、市内の事業承継の事例集を作成した。
評価等	・事業承継の取り組みを促進していくため、相談窓口の明確化や関係者の役割と連携の仕組みづくり、事業者への啓発と相談の受入を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H31完了 <input type="checkbox"/> R2完了予定 ・引き続き、事業承継が円滑に進むために必要な支援を検討する。

5.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	事業承継推進委員会を開催し、事業承継における問題点を把握した。事業承継を周知するための、チラシ作成などを実施した。
評価等	・事業承継の取り組みを促進していくため、相談窓口の明確化や関係者の役割と連携の仕組みづくり、事業者への啓発と相談の受入を行うことができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定 ・円滑な事業承継を支援するため、事業承継関連融資に利子・保証料補給制度を創設し、支援する。

担当課 予算要求 ポイント	・事業承継関連融資への利子・保証料補給に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和2年度予算)

事業名	61180 事業承継支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> R2新規	<input type="checkbox"/> R3新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	商工労働部 商工振興課
枝番・内容	1 事業承継支援事業費		<input checked="" type="checkbox"/> R2拡充	<input type="checkbox"/> R3拡充		款	6	商工費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	商工費	内線	2214	
		<input type="checkbox"/>		目		1	商工振興費	作成年月	R3.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・円滑な事業承継を推進することにより、市内事業者の有する技術や販路、ブランド力などの次代への継承を図る。	概要	・事業承継相談窓口の開設と周知 ・事業者と後継者のマッチング支援 ・円滑な事業承継の推進に向けた支援の強化
----	--	----	---

【参考】H31決算(Do-Check) R2.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		
対前年度増減額(決算)		

【参考】R2当初予算(Action) R2.3時点 (千円)

予算額	当初	300
主な経費	・委託料	
対前年度増減額(当初予算)		300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R2決算(Do-Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	300
	繰越	0
	補正等	0
	最終	300
決算額		300
対前年度増減額(決算)		300

R3当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,800
主な経費	・需用費 ・役員費 ・委託料 ・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		3,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H30完了 <input type="checkbox"/> H31完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、商工会、金融機関等との事業承継の相談窓口等の連携強化 ・大学連携センターの活用 ・事業承継希望者とのマッチング 	
[スケジュール]	
5月～ 事業承継推進委員会の開催 ・事業承継希望者とのマッチングについては、新型コロナウイルス感染症の影響をみながら今後検討	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継窓口の周知 ・事業承継のマッチング支援 ・創業者へのアンケート調査 	
[評価等]	
・事業承継推進委員会について、コロナ禍の中、下期のみの開催となった。 ・各種調査や委員会の開催による情報共有に加え、事業承継相談窓口の広報や事業承継専門家の派遣等も実施し、市内事業者への啓発と事業承継の促進に寄与した。	
次年度以降の考え方(担当課)	・事業承継に関する融資について、利子・保証料補給する制度へ変更する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
岐阜県制度、岐阜県信用保証協会、日本政策金融公庫における事業承継関連融資に対して、3年間の利子と保証料全額を補給する。	
[スケジュール]	
R3.4 事業開始	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定